

令和5年度 東京都立八王子北高等学校 学校経営計画



スクール・ミッション

生徒・保護者及び地域の期待と信頼を踏まえながら、確実に進化を続ける中堅校として、変革する未来に逞しく生き抜く人材を輩出するために、自ら学び、考え、挑戦する態度を迫及する探究手法を身に付け活用し、社会貢献意識を持って実行し、自己実現を粘り強く図れる、協働力のある人間性豊かな人材を育成します。

1 教育目標

本校の教育目標を踏まえ、地域の信頼と期待に応える中堅校として、グローバル社会で社会貢献し自己実現を図れる、人間性豊かな人材を育成するために、次の4つを教育目標とする。

- (1) 自主自律
- (2) 文武両道
- (3) 地域貢献
- (4) 挑戦 ～未来に向けて グッド トライ～

2 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

新たな時代にたくましく生き抜く人間力の育成を目指し、具体的に次の3つの力を育成する。

- ① 探究力を備え、課題解決に臨める力
- ② 失敗を恥じることなく粘り強く自己実現に挑戦する力
- ③ 良き社会人として協働し、社会貢献に取り組める力

(2) カリキュラム・ポリシー

- ① 少人数制授業・習熟度別授業を展開し、「わかる」を実感させる授業で、基礎学力の定着から「考える」を大切に「できる」までの確かな学力を育成する。
- ② 1、2年次は全員で幅広く教科を学習し教養を確実に身に付け、3年次の自由選択科目で自己実現を図るための学力を育成する。
- ③ 全教育活動において、探究的学習手法を学び、失敗を恥じることなく課題解決のために自ら主体的に考える探究力を身に付け、粘り強く自己実現を図れる人間力を育成する。
- ④ 学校行事や部活動で培われる思いやりや規範意識を重視し、生徒同士がチームとして一体となり文武両道を実践しながら、生徒の自主自律の精神と協働力を育成する。
- ⑤ 探究学習において地域との交流・連携をこれまで以上に深め、達成感や自身の可能性を実感することにより、自尊意識育成する。

(3) アドミッション・ポリシー

本校では、次の項目に当てはまる生徒の入学を期待する。

- ① 学習成績が良好で評定の高い教科をもち、進路実現に向けて努力できる生徒。
- ② 本校入学後の学習活動や部活動等の目標を明確にもち、挑戦する意欲的な姿勢をもてる生徒。
- ③ 基本的生活習慣を身に付け、社会貢献への姿勢と意識の高い生徒。
- ④ 部活動や中学校以外の活動に原則3年間積極的に取り組み、入学後も部活動を続け、学校生活において協働できる生徒。

3 グランドデザイン

目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿）

持続可能で創造的な福祉社会の担い手を育成するために自分の能力を生かしてゆける人間として成長する。



見つけられる力（育成すべき資質・能力）

- (1) 知識・技能・身につける学力
高校上位で、大学受験に対応できるような学力を身につける。
- (2) 思考力
論理的思考を身に付け、実際の行動と一致できる。
- (3) 判断力
行動の優先順位をつけ、他者との間で調整する能力。
- (4) 表現力
自分の判断や思考を使って他者を説得し、行動できる。
- (5) コミュニケーション力
クラスの意見をまとめ一つの方向性を出せる。
- (6) 規範意識
学校全体のルールを考え学校全体で共有できる。
- (7) 課題解決力
進路実現に向けて具体的な進路を探究する。
- (8) 協働性
他者への想像力を育み、高度な協同性を発揮できる。

4 目指す学校

本校の教育目標及び地域の期待を踏まえ、地域の信頼と期待に応える中堅校として、変革する未来に身に付けた探究手法を活用し、社会貢献し、自己実現を図れる、人間性豊かな人材を育成する。

(1) 生徒の可能性を伸ばし、進路実現を図る学校

健全で明るい校風の中で、文武両道に励み、「わかる」を実感させる授業で、基礎学力の定着から「考える」を大切に「できる」までの確かな学力を育成し、生徒の個々の可能性を伸ばす進路指導を丁寧に行い、生徒の希望する進路を実現する学校にする。

(2) 学校教育活動により、自主自律を育成する学校

学校行事や部活動で培われる思いやりや規範意識を重視し、生徒同士がチームとして一体となり部活動と学習の両立を実践しながら、生徒の自主自律の精神を育成する学校にする。

(3) 地域貢献を実践し、自尊意識を高められる学校

学校地域との交流・連携をこれまで以上に深め、達成感や自身の可能性を実感することにより、自尊意識育成する学校にする。

(4) 新たな時代にたくましく生き抜く人間力を育成する学校

生徒が、積極的に挑戦する気概を醸成し、失敗を恥じることなく課題解決のために自ら主体的に考える探究力を身に付け、粘り強く自己実現を図れる人間力を育成する学校にする。

5 中期的目標と方策

地域から寄せられる信頼をさらに厚くし、部活動と学習の両立を目指しながらバランスのある健全育成を重視した中堅校としての地位を発展させる。基礎・基本の学習を徹底させ、探究学習に取り組むことにより、主体的に考える姿勢を育成し、自身の可能性を伸ばし、より高く自己実現を目指す人間力を育成する。将来は、よき社会人として協働し、社会貢献できる資質の高い人材の育成を果たす。そのために、生徒の自己有用感や帰属意識を高める指導を積極的に行う。組織的な学校運営を構築する。

目標1 心身の健全育成を重視した地域に信頼される中堅校として、新時代のグローバル社会にたくましく生き抜く生徒を育成する。

方策1 規範意識の向上

方策2 挑む力の養成

方策3 教育相談体制の充実

目標2 学力の三要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」）を基盤に、「わかる・考える・できる」を具現化できる姿勢を育成し、自身の可能性を伸ばし、より高く自己実現を目指す人間力を育成する。

方策4 探究学習活動の取組み

方策5 読解力・表現力向上の取組み

方策6 確かな学力の向上

目標3 将来は、よき社会人として協働し、社会貢献できる資質の高い人材育成を果たす。

方策7 探究手法を取り入れた教育活動

方策8 切磋琢磨する集団づくりの充実

方策9 生徒の希望する進路実現

目標4 教職員が目標達成に向け高い人権意識と生徒との信頼関係に基づく指導を推進し、組織的な学校運営を実践する。

方策10 共通認識を持ち、グランドデザインを実践する。

方策11 組織的な学校広報の充実

方策12 経営参画型の経営企画室運営

6 今年度の取組み目標と方策

中期的目標の達成に向けて、「チーム八北」が一丸となって、生徒主体の教育活動を展開するための今年度学校経営計画の柱は、次の通りとする。

【目標】

(1) ICTを効果的に活用した教育活動を一層推進

生徒の進路実現に向けて、一人一台端末を有効活用するための「学習支援コンテンツ」を導入し、効果的に学力向上・授業改善に取り組む。

(2) 今後の更なる国際（グローバル）化を踏まえ、「国際理解教育」を推進

本校の新たな特色として「国際（グローバル）」と「地域（ローカル）」を2本の柱とした「グローカル教育」を推進する。「国際理解教育」を進め、外国語（英語）教育の充実を図る。

具体的には、グローバルな世界を体感できる「TOKYO GLOBAL GATEWAY事業」に学年行事として参加する。

(3) 本校の特色である「探究学習」を一層推進

「探究学習」をより一層充実させ、都民・地域から信頼される学校づくりを進める。

(4) 生涯の健康に関する理解促進事業の推進

生涯を通じて生徒が、自らの健康や環境を管理し、改善していくための資質・能力を涵養する。

【方策】

(1) 学校全体での広報活動の推進による募集倍率の向上【最重要】

- ①ホームページ、Twitter の活用
- ②生徒主体の学校説明会（生徒会・部活動・生徒有志）【重要】
- ③中学校訪問

生徒ボランティア（新入生中学校訪問 等）

- ④塾訪問
- ⑤授業公開

(2) 探究学習活動の企画・実践の充実

- ①計画的な「総合的な探究の時間」の実施
ルーブリック評価等の活用による生徒の変容を図る「振り返り」の実施【重要】

②地域の防災活動協力

小学生・中学生への支援、地元・八王子市民（高齢者）支援、防災士の資格取得【重要】

防災活動における Twitter 有効活用

探究部の始動

「高校生農業応援プロジェクト」の推進【重要】

(3) 新教育課程の実施

①学習指導

I C T機器を活用した次世代教育の実践

「学習支援コンテンツ」の有効活用【重要】

アクティブラーニングの向上

小テストや家庭学習等による成功体験の実践【重要】

グランドデザインに基づくルーブリック評価の積極活用【重要】

教科を横断した相互授業参観の実施【重要】

統一テストの実施【重要】

オンライン英会話の実施【重要】

②「個別最適化」を図る評価方法の確立

多面的評価に基づく観点別評価の実施【重要】

③探究学習活動と進路指導の連携【重要】

プレゼンテーション能力の向上

(4) I C T教育推進

①I C T活用授業推進

②一人一台端末の活用

「学習支援コンテンツ」の有効活用【重要】

(5) 進路指導

①家庭学習時間の確保【重要】

「学習支援コンテンツ」の有効活用【重要】

②学校全体での生徒の可能性を伸ばす進路支援の充実【重要】

夏期・冬期講習会の充実及び「見える化」

大学受験講座、小論文対策、面接対策、就職対策、基礎講座、教養講座、資格取得対策等

勉強合宿（学年）、八北ゼミ

③キャリアパスポートとしてのポートフォリオを利用した「個」に応じた指導の確立（学年と連携）【重要】

(6) 生活指導

①基本的生活習慣の確立

遅刻を減らす組織的な取組みの強化【重要】

②コロナ対策を踏まえた行事の充実

学校行事・生徒会・部活動・委員会活動の充実【重要】

ルーブリック評価等の活用による生徒の変容を図る行事の「振り返り」の実施【重要】

行事検討委員会を設置し、組織的な取組みの強化【重要】

コロナ対策、熱中症対策 実施の工夫等

オリンピック 2020 レガシー

生徒会・部活動・委員会活動による地域の小学生・中学生への地域貢献（学校公開・部活動体験等の参加）

②安全指導の徹底

学校サポートチームの活用

防災教育の実践

いじめ未然防止

SNSトラブルの対応

登下校中の自転車事故の未然防止【重要】

部活動中における怪我の防止

③校則

オフィシャルに即した着こなしの定着化【重要】

④挨拶指導の慣行による規範意識の醸成化【重要】

（7）教育相談・保健指導（心と体の健康づくり）

①生涯の健康に関する理解促進事業の推進

産婦人科医を招聘した、ライフプランと健康との関りに関する公開授業の実施【重要】

②自立支援チーム、ユースソーシャルワーカー、スクールカウンセラーと連携【重要】

③コロナ感染症対策の実践

④コンディションレポートによる健康観察【重要】

⑤熱中症対策【重要】

⑥教育活動中における怪我発生時の緊急対応

（8）学年

①生活指導（生活指導部との連携による基本的生活習慣の確立）

集団生活を通じた規範意識の醸成

遅刻を減らす組織的な取組みの強化【重要】

オフィシャルに即した着こなしの定着化【重要】

登下校中の自転車事故の未然防止【重要】

②コロナ禍を踏まえた学校行事の実施

TGG（東京グローバルゲートウェイ）、修学旅行、遠足の実施

③進路指導（進路指導部との連携による基本的学習習慣の確立）

進路指導部・教科との連携による家庭学習時間の増加【重要】

キャリアパスポートとしてのポートフォリオを利用した「個」に応じた指導の確立

（9）特別活動

①部活動基本方針に即した生徒の健全育成

②国際理解教育を推進する新企画の実施【重要】

オンライン英会話等の実施

今年度の数値目標 【 】内は1～5年間の実績値推移

- (1) 計画的な業務遂行により時間外勤務時間45時間以上 0人
【45時間以上5.5人→6人→7人→5人、80時間以上1.3人→3人→0人→2人、100時間以上0.5人→0人→0人→0人】
- (2) 入学者選抜の最終応募倍率 推薦2.85倍 学力検査1.32倍
【推薦：3.5→3.7→3.5→2.92→3.2→2.82 学力検査：1.55→1.39→1.35→1.30→1.04→1.30】
- (3) 広報活動を充実させ、学校説明会の来校者数（中学生、保護者）2,000人以上
【900人→1520人→565人→1153人→2431人→1822人】
- (4) 本校ホームページ・Twitterの充実によりアクセス回数600,000回以上
【80,000回→170,000回→110,000回→609,578回】
- (5) 地域と連携した探究学習活動 11回
【9回→11回】
- (6) 2学期期末考査における「思考力」を問う出題割合100%
【75.1%→98.0%】
- (7) 平日家庭学習1時間以上の割合 全学年50%
【20.6%→21.5%→37.9%】
- (8) 夏期・冬期講習会の充実 40講座・参加人数（延べ）300名
【37講座・参加人数（延べ）224名】
- (9) 3年間を見据えた進路指導により
 - (ア) 大学・短大進学者数80人以上
【60人→49人→58人→65人→74人】
 - (イ) 就職率（就職希望者に対して）の100%維持
【100%→100%→100%→100%→100%】
- (10) 資格取得
 - 日本漢字能力検定：準2級 5名、2級 1名
【3級 5名、準2級 10名、2級 1名】
 - 実用英語技能検定：3級 8名、準2級 16名、2級 2名
【3級 4名、準2級 16名、2級 2名】
 - 世界遺産検定：4級 6名、3級 2名、2級 1名
【4級 1名、3級 1名、2級 0名】
 - 防災士：15名
【19名】
 - 上級救命講習：200名
【200名】
- (11) 活動加入率80%
【83%→81%→74%→79%→78%】
- (12) SCやYSWと連携した教育支援を充実させ、中途退学生徒 3人以下
【5人→7人→1人→0人→1人】